

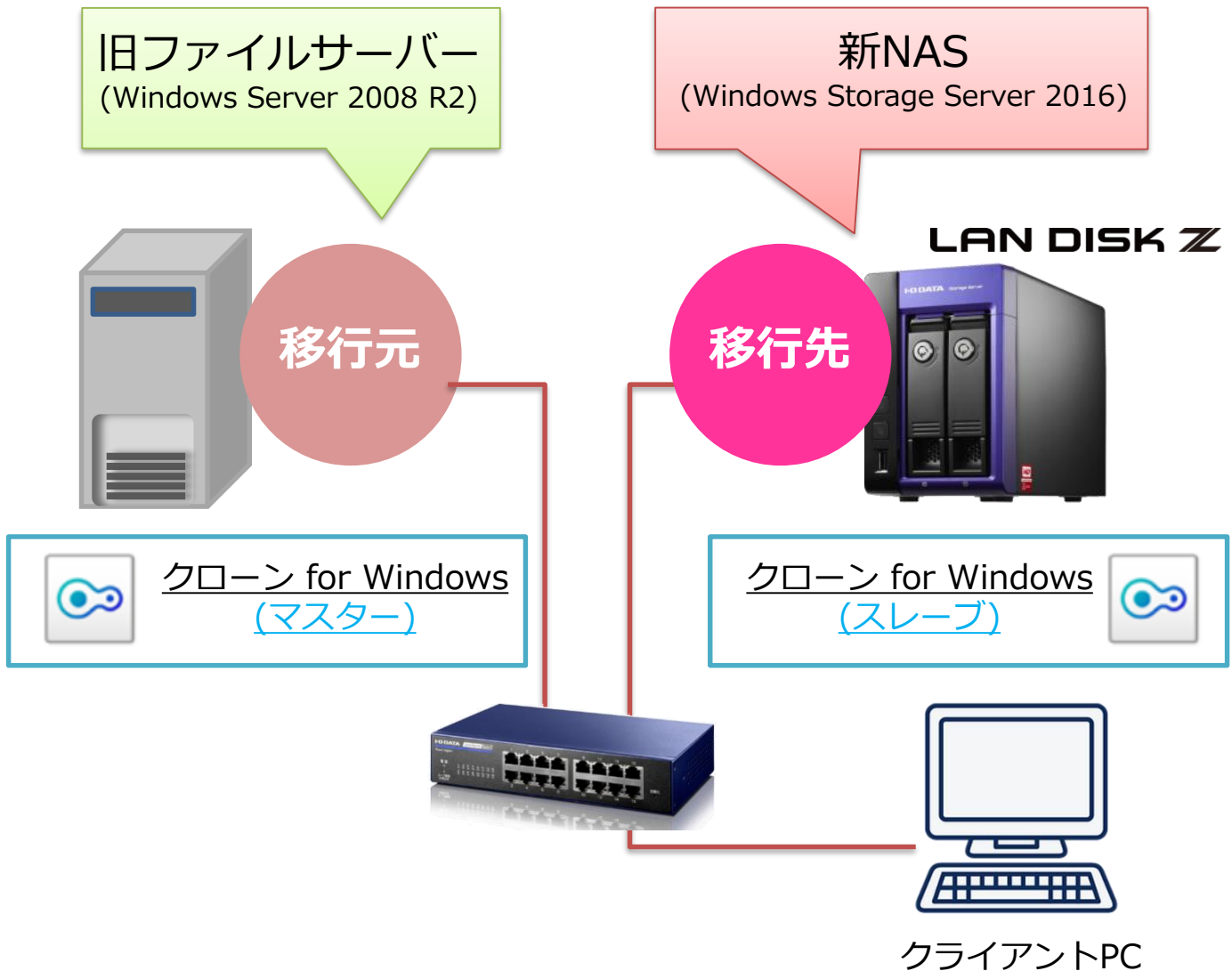
<アイオー法人セミナー>

Windows Server 2008 EOSに向けた ファイルサーバー移行セミナー

Workgroup環境 編



■ 本日の環境



■ 移行作業の流れ

1. 旧ファイルサーバーの動作確認
2. 新NASの準備
3. 新NASへ移行の実施
4. 移行結果の確認

1. 旧ファイルサーバー動作確認

旧ファイルサーバー

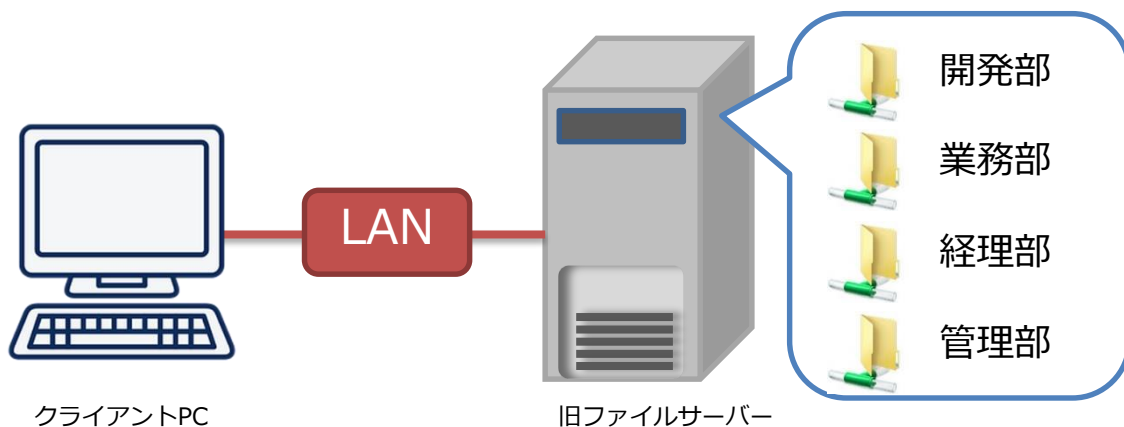


移行元

1-0 : 旧ファイルサーバーのアクセス権確認



移行元の旧ファイルサーバーでは、以下の[ユーザー・グループ・フォルダー]が作成されており、それぞれにアクセス権が設定されています。



■ ユーザーとグループ

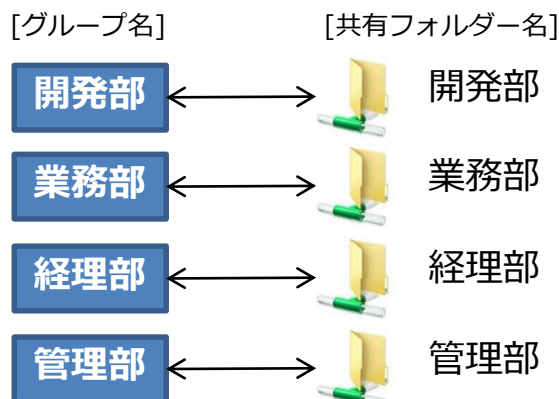
各グループ（開発部・業務部・・・）に対し、各ユーザー（user1、user2・・・）が紐づけられている。

← ユーザー →

	user1	user2	user3	z 1	z 2	student
↑ グループ ↓						
開発部	○					○
業務部	○	○				○
経理部		○	○			○
管理部				○	○	○

■ グループと共有フォルダーのアクセス制限

各グループと同じ名前の共有フォルダーが作成されていて、共有フォルダーのアクセス権は「グループ」に紐づいている



1-1 : user1でアクセスする

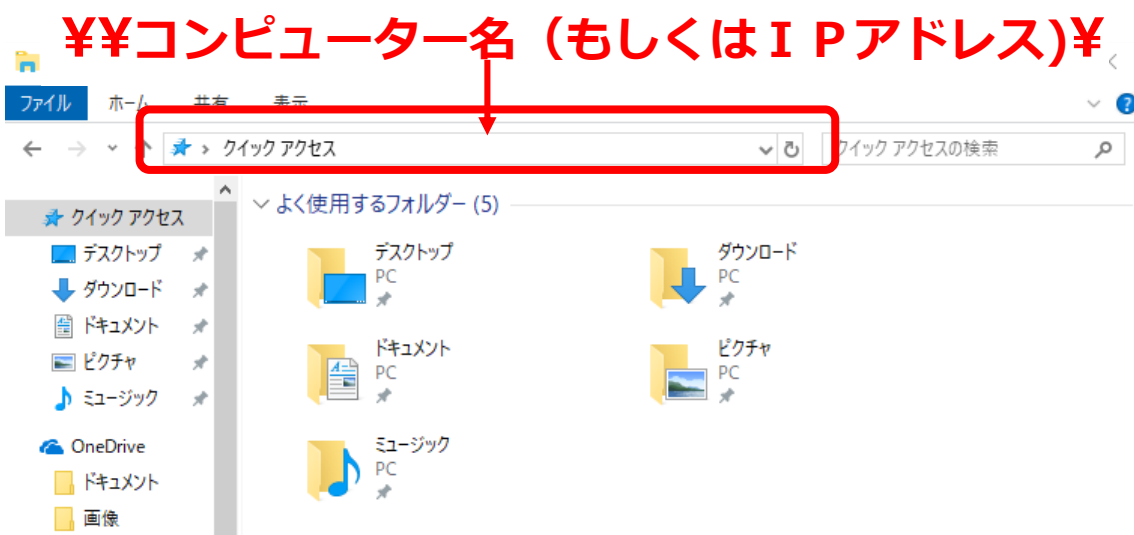


旧ファイルサーバーの共有フォルダーのアクセス権設定を確認するため、クライアントPCから旧ファイルサーバーへアクセスします。

1. クライアントPCにuser1でログインします。

項目	値
ユーザ名	user1
パスワード	iodata@01

2. 旧ファイルサーバーにアクセスします
別紙 [【設定シート】](#) の「旧ファイルサーバーの設定情報」にある、**コンピューター名** または **IP アドレス** でアクセスしてください。



3. 4ページのアクセス権通りに、旧ファイルサーバーにアクセス制限がかかっていることを確認します。
4. 「スタート」→ユーザーのアイコンをクリック→「サインアウト」を選択して、別のユーザーへ切り替えます。

1-2 : studentでアクセスする

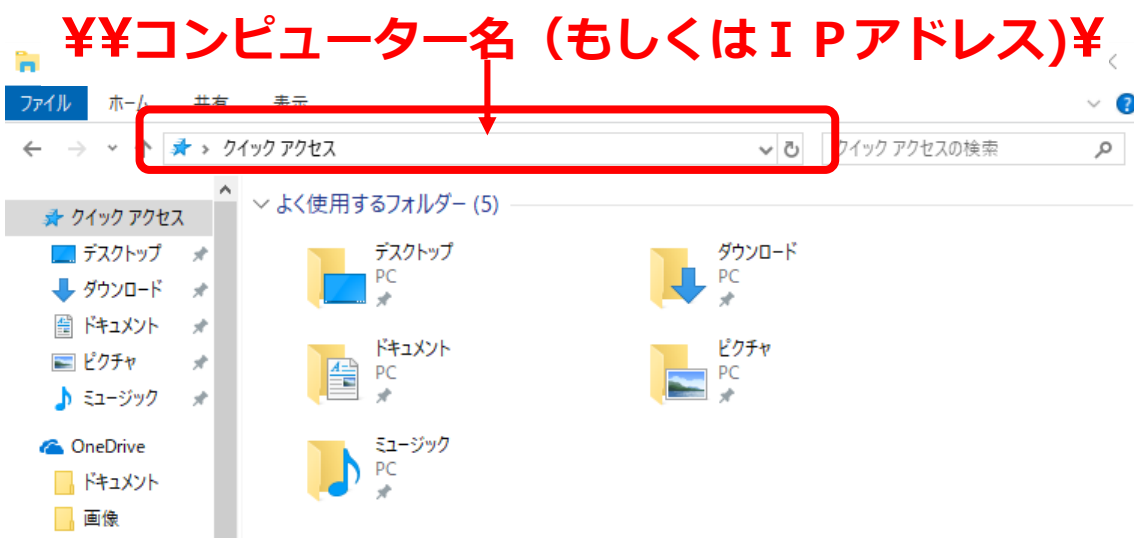


旧ファイルサーバーの共有フォルダーのアクセス権設定を確認するため、クライアントPCから旧ファイルサーバーへアクセスします。

1. クライアントPCにstudentでログインします。

項目	値
ユーザ名	student
パスワード	admin@00

2. 旧ファイルサーバーにアクセスします
別紙【[設定シート](#)】の「旧ファイルサーバーの設定情報」にある、**コンピューター名** または **IP アドレス**でアクセスしてください。



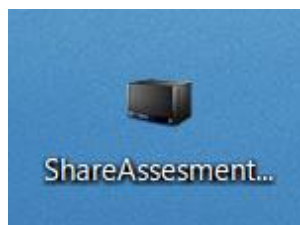
3. 4ページのアクセス権どおりに、旧ファイルサーバー上の全共有フォルダーにアクセスが可能なことを確認します。
4. 確認ができましたら、サインアウトせず、次のページにすすみます。

1-3 : アセスメントツールで 旧ファイルサーバーを事前チェックする

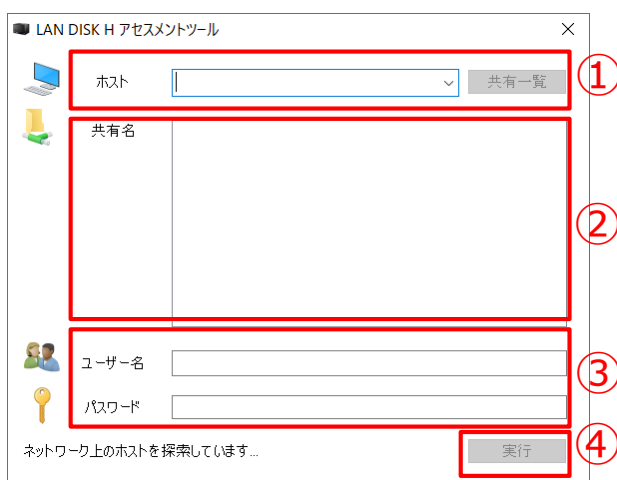


クライアントPCで「アセスメントツール」を実行して、移行元の旧ファイルサーバーからの移行にかかる時間などを確認します。

1. 「アセスメントツール」(ShareAssesmentTool.exe)を起動します。



2. 調査する移行元(旧ファイルサーバー)にアクセスします。

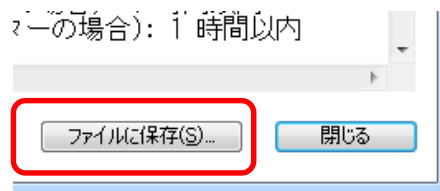


- ① 「ホスト」に旧ファイルサーバーのコンピュータ名またはIPアドレスを入力し[共有一覧]をクリック
- ② 「共有名」は以下のみ選択
 - 開発部
 - 業務部
 - 経理部
 - 管理部**※上記以外は選択しない**
- ③ ユーザー名とパスワードは以下を入力。

ユーザー名 : student
パスワード : admin@00

- ④ [実行]ボタンをクリック

3. 実行結果が表示されましたら、「デスクトップ」を保存先に指定し、テキストファイルが保存されましたら完了です。



<アセスメントツールについて>

古いNASが壊れる前に!

買い替え 3つのサポート

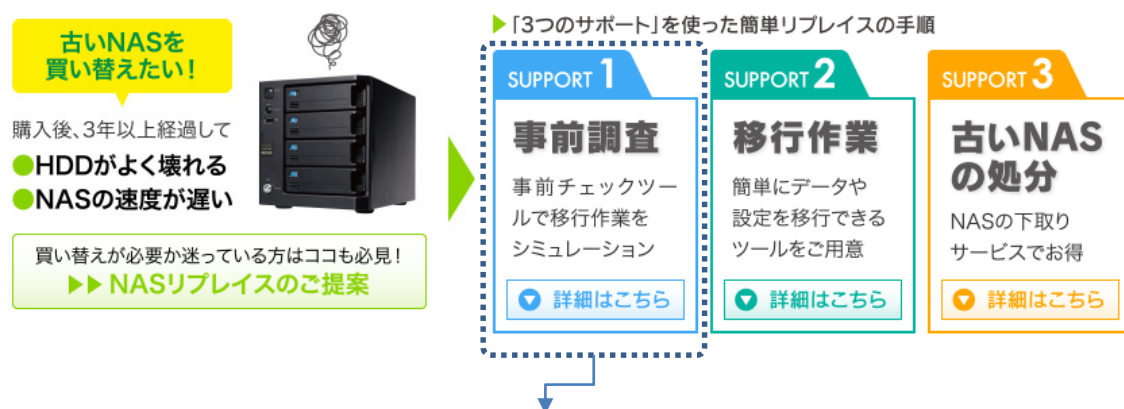
LAN DISK シリーズ

アイ・オーはNASを安心してお使いいただくためにNASのリプレイス(買い替え)を応援します!



「3つのサポート」とは?

古いNASの買い替えをお考えの方必見! アイ・オーは、NASの買い替え時に役立つ便利なサービス・機能を「3つのサポート」としてご提供しています。最新のビジネスNAS「LAN DISK Hシリーズ」、「LAN DISK Zシリーズ」なら、ご面倒な移行作業や古いNASの処分も「3つのサポート」で解決いたします。



アセスメントツールは データ移行に必要な情報を収集するツールです



詳細は下記のページを参照ください。
<https://www.iodata.jp/biz/replacesupport/>

2. 新NASの準備



2-1：機器設置

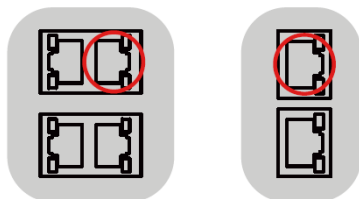


新NASをネットワークに設置します。

1. LANケーブルを接続します。

▼4ポートある場合

▼2ポートある場合



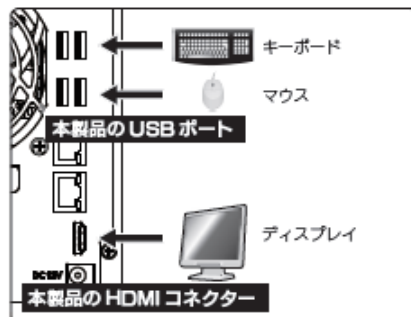
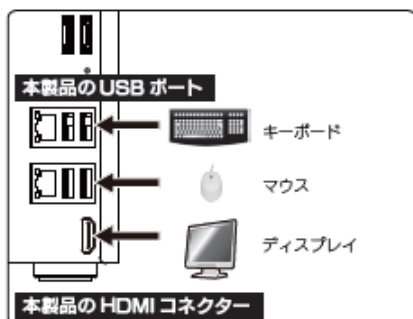
2. USBポートにキーボード、マウス、HDMIポートにディスプレイをつなぎます。

① USBポートにキーボード、マウスをつなぐ

② HDMIコネクタにディスプレイをつなぐ

▼4ドライブモデル

▼2ドライブモデル

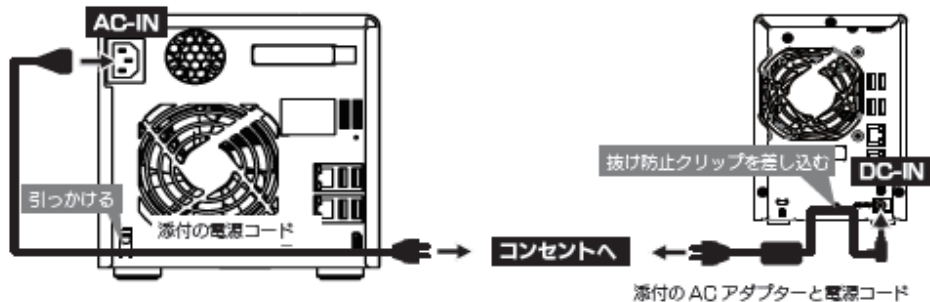


3. 電源を新NASと接続し、コンセントにつなぎます。

※ケーブルフックに引っかけます。

▼4ドライブモデル

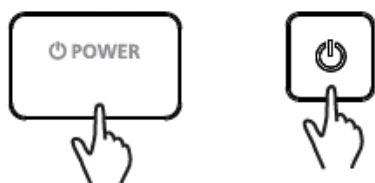
▼2ドライブモデル



4. 電源ボタンを押し、新NASを起動します。

▼4ドライブモデル

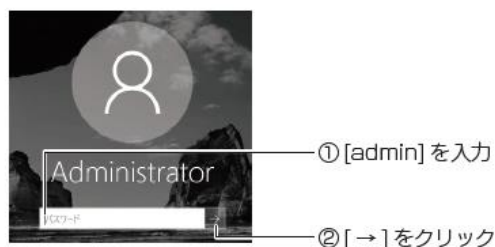
▼2ドライブモデル



2-2 : IPアドレス変更



1. ログイン画面が表示されたら、パスワード[admin]を入力して新NASにログインします。



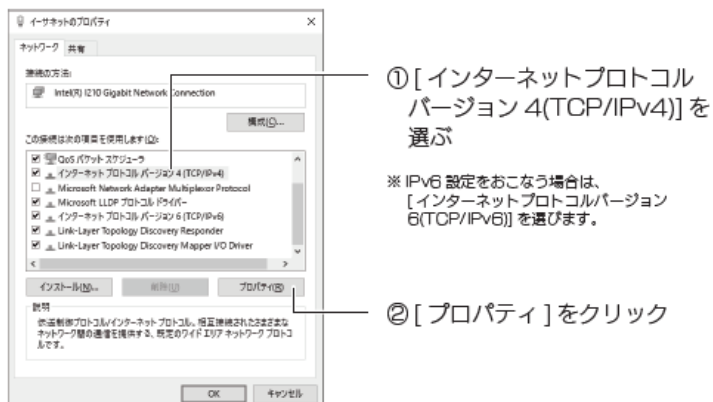
2. 「サーバーマネージャ」でIPアドレスを設定します。
[ローカルサーバー]画面の「イーサネット」横の「IPv4アドレス(DHCPにより割り当て)、IPv6(有効)」のリンクをクリックします。



3. ×印がないイーサネットを右クリックして[プロパティ]をクリックします。



4. 「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IP)」を選択して[プロパティ]をクリックします。



(つづき) 2-2 : IPアドレス変更



5. 別紙【設定シート】の「新NASの設定情報」を確認し、値を入力後[OK]をクリックします。

① IP アドレスを設定する

② [OK] をクリック

[移行セミナー用設定シート]



新NASの設定情報

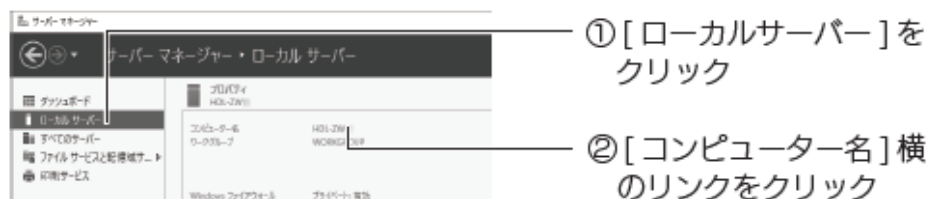
項目	値
コンピューター名	2016
① IPアドレス	192.168.
② サブネットマスク	255.255.255.0

6. 画面をすべて閉じて「サーバーマネージャー」画面に戻ります。

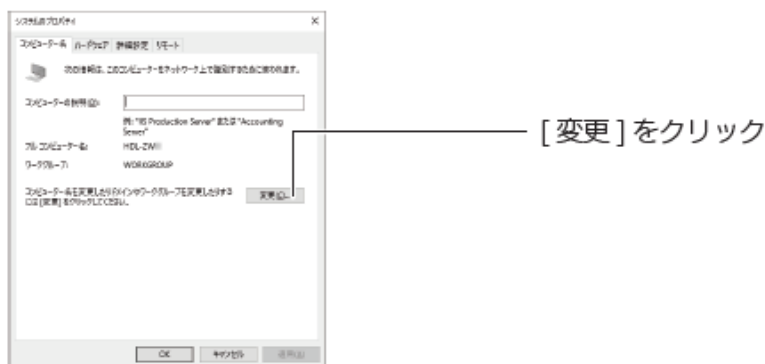
2-3 : コンピューター名の変更



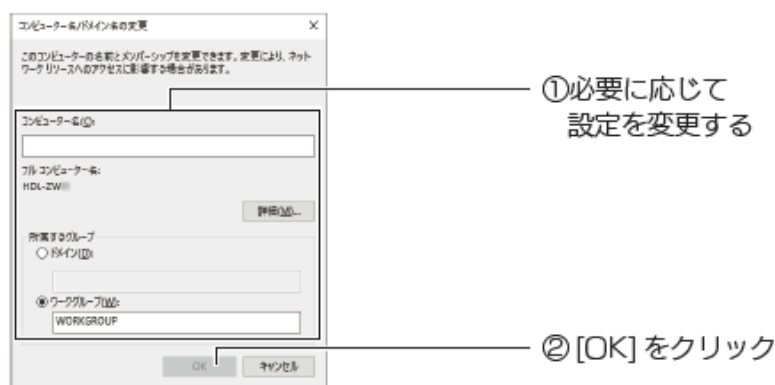
1. 「サーバーマネージャー」を開きます。
2. [ローカルサーバー]の「コンピューター名」横のリンクをクリックします。



3. [変更]ボタンをクリックします。



4. 「コンピューター名」欄に、別紙【[設定シート](#)】に記載されている新NASの「コンピューター名」を入力し[OK]をクリックします。



[移行セミナー用設定シート]



新NASの設定情報

項目	値
① コンピューター名	2016
IPアドレス	192.168.
サブネットマスク	255.255.255.0

このあと、画面の指示にしたがって新NASを再起動します。

2-4.新NASの設定確認



移行前の新NASに、旧ファイルサーバーにある
[ユーザー][共有フォルダー]が無いことを設定状態を確認します。

1. 新NASにログインします。

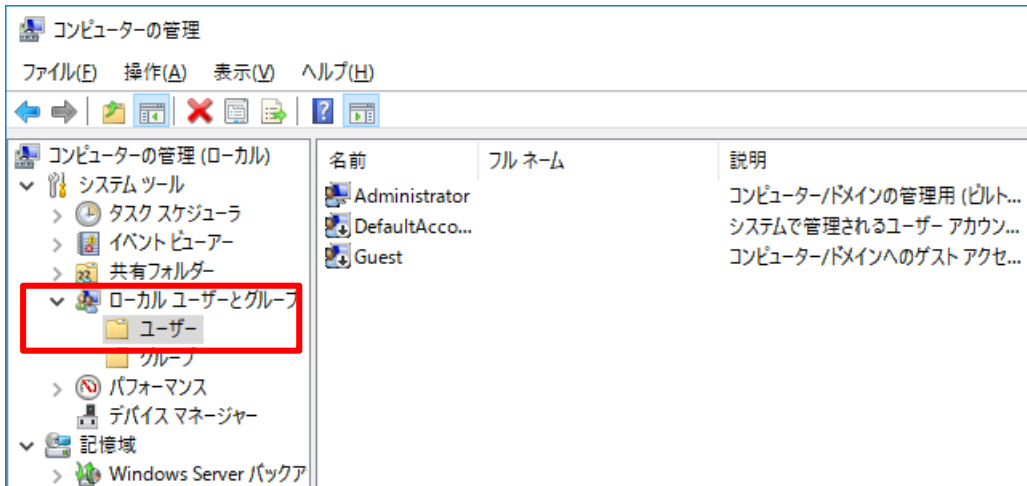
項目	値
ユーザ名	Administrator
パスワード	admin

2. 「サーバーマネージャー」画面右上の「ツール」 →「コンピューターの管理」を開きます。

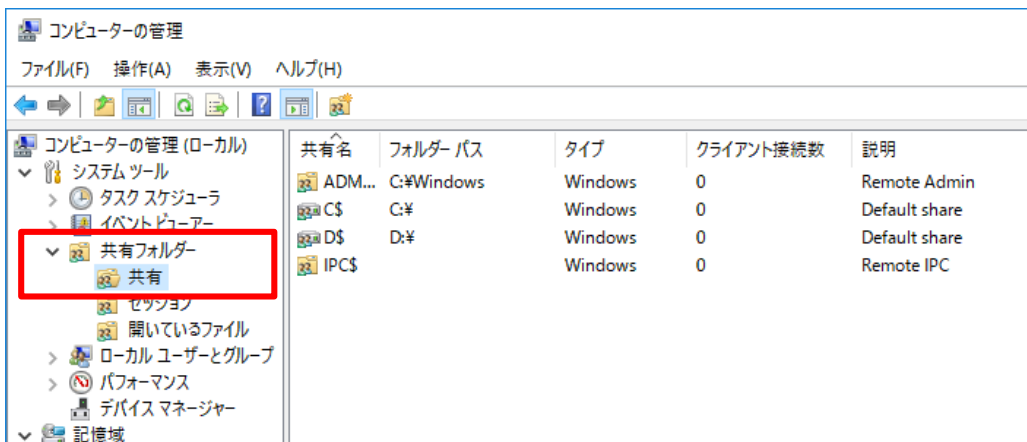




3. 「ローカルユーザーとグループ」をダブルクリックし、「ユーザー」をクリックして、移行前のユーザー情報を確認してください。



4. 「共有フォルダー」をダブルクリックし、「共有」をクリックして、共有フォルダーが作成されていないことを確認します。



以上で新NASの準備は完了です。

3. 新NASへ移行の実施

3-0 : 移行手順概要

■ 環境と実施手順

3-1 : 新NASにクローン for Windows (スレーブ機用) をインストール



3-2 : 新NASから旧ファイルサーバーに
リモートデスクトップで接続



3-3 : 旧ファイルサーバーにクローン for Windows (マスター機用) をインストール



3-4 : 移行の設定と実施確認



3-5 : サーバー切り替え



3-6 : ユーザーのパスワード変更



新NASが新ファイルサーバーとして運用開始！

ご注意

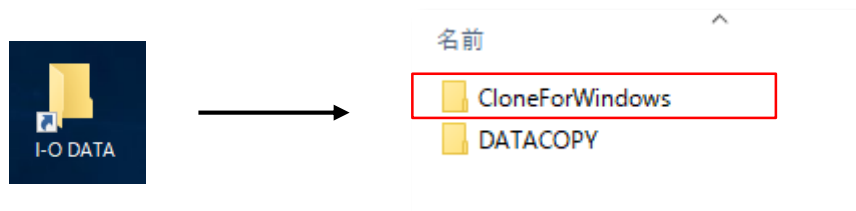
移行後は、ユーザーパスワードは、ユーザー名と同じになります。
実際の作業に際しては、事前にユーザー/パスワードの一覧を
ご用意されることをお勧めします。

3-1 : 新NASにクローン for Windows (スレーブ機用) をインストール

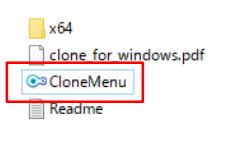


クローン for Windowsは「マスター機用」と「スレーブ機用」の2種類のインストーラーがありますのでご注意ください。

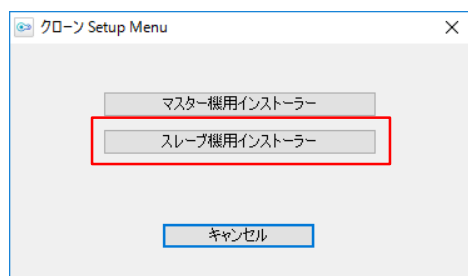
1. 新NASのデスクトップの「I-O DATA」フォルダー内「CloneForWindows」フォルダーを開きます。



2. 「CloneMenu」を実行します。



3. 「スレーブ機用インストーラー」を実行します。



画面の指示にしたがってインストールします。

4. 「完了」ボタンをクリックしてインストールは完了です。
5. 完了画面になりましたら画面を閉じ、「CloneForWindows」フォルダーを閉じてください。

3-2 : 新NASから旧ファイルサーバーに リモートデスクトップ接続する

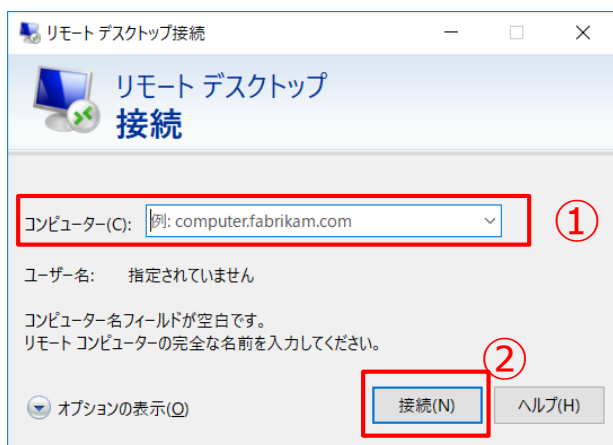


新NASから旧ファイルサーバーにリモートデスクトップで 接続します。



新NASと接続しているディスプレイを使って、旧ファイルサーバー画面を表示・操作します。

1. 新NAS上で、[スタート] → [Windows アクセサリ] → [**リモートデスクトップ接続**] をクリックします。
2. 「コンピューター」欄に、別紙 **【設定シート】** の「旧ファイルサーバーの設定情報」の[**コンピューター名** または **IPアドレス**]を入力して[接続]をクリックします。



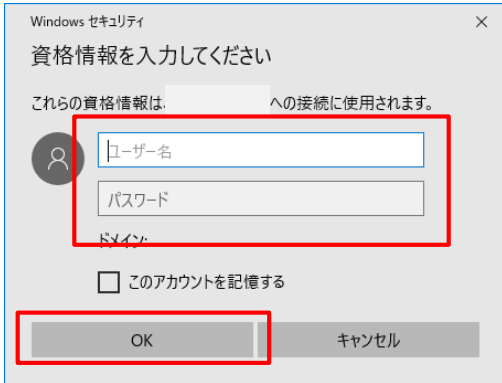
[移行セミナー用設定シート]

旧ファイルサーバーの 設定情報	
項目	値
コンピューター名	2008wkg
IPアドレス	192.168.8.

(つづき) 3-2 : 新NASから旧ファイルサーバーに
リモートデスクトップ接続する

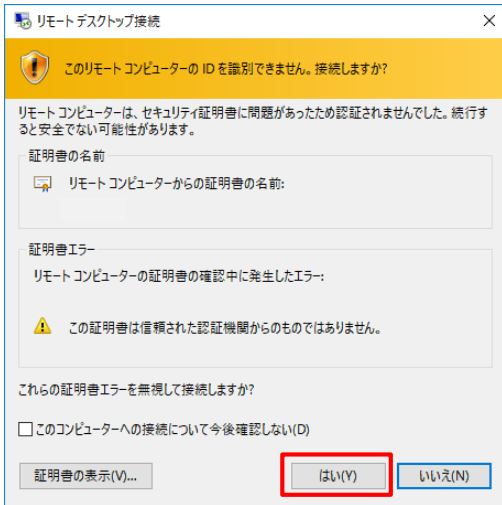


3. 以下の画面が表示されましたら、
下記表内のユーザー名とパスワードを入力して
[OK]ボタンをクリックします。

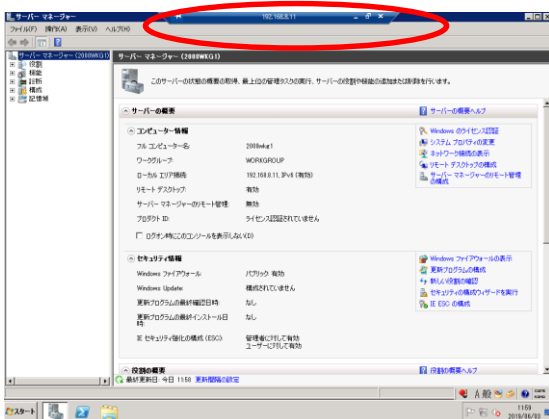


項目	値
ユーザ名	student
パスワード	admin@00

4. 以下の画面が表示された場合は[はい]をクリックします。



新NASのデスクトップ画面に「旧ファイルサーバーのデスクトップ画面」(リモートデスクトップ画面)が表示されていることをご確認ください。



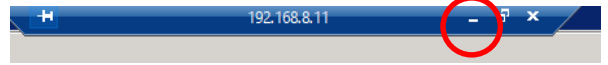
←新NASの「リモートデスクトップ」で旧ファイルサーバーのデスクトップ画面を表示

3-3 : 旧ファイルサーバーにクローン for Windows (マスター機用) をインストール

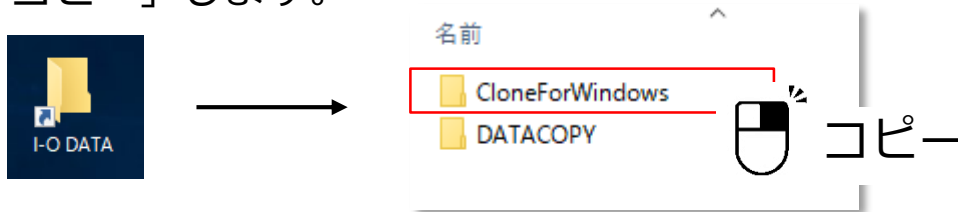


新NASにあるクローンfor Windowsを旧ファイルサーバーにコピーし、マスター機用クローン for Windowsをインストールします。

1. 旧ファイルサーバーの画面は、上の「-」ボタンをクリックして、**新NASのデスクトップ画面を表示**させます。

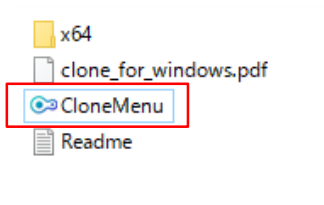


2. **新NASのデスクトップ上**の「I-O DATA」フォルダー内の「CloneForWindows」フォルダーを「右クリック」→「コピー」します。

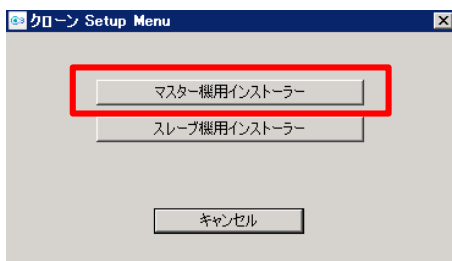


3. (リモートデスクトップ上の) **旧ファイルサーバーの画面を開きます**。旧ファイルサーバーのデスクトップ上で「右クリック」→「貼り付け」します。

4. 旧ファイルサーバーにコピーした「CloneForWindows」フォルダーを開き、「CloneMenu」を実行します。



5. 「マスター機用インストーラー」を実行します。



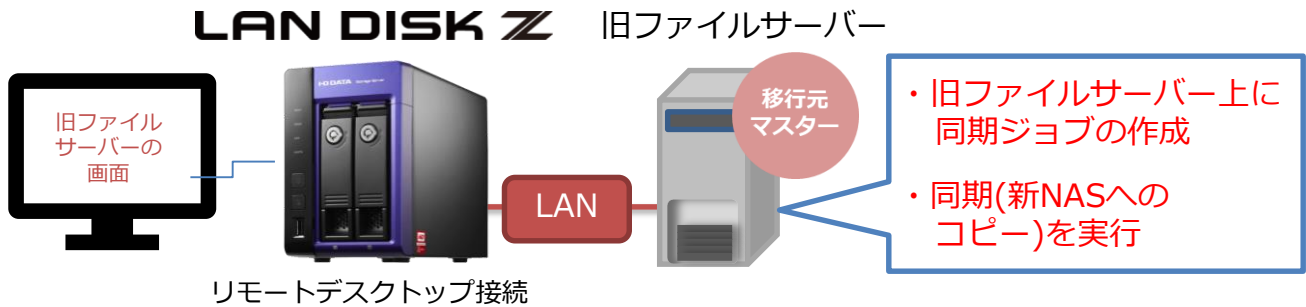
画面の指示にしたがってインストールします。

6. 完了画面になりましたら画面を閉じ、「CloneForWindows」フォルダーを閉じてください。

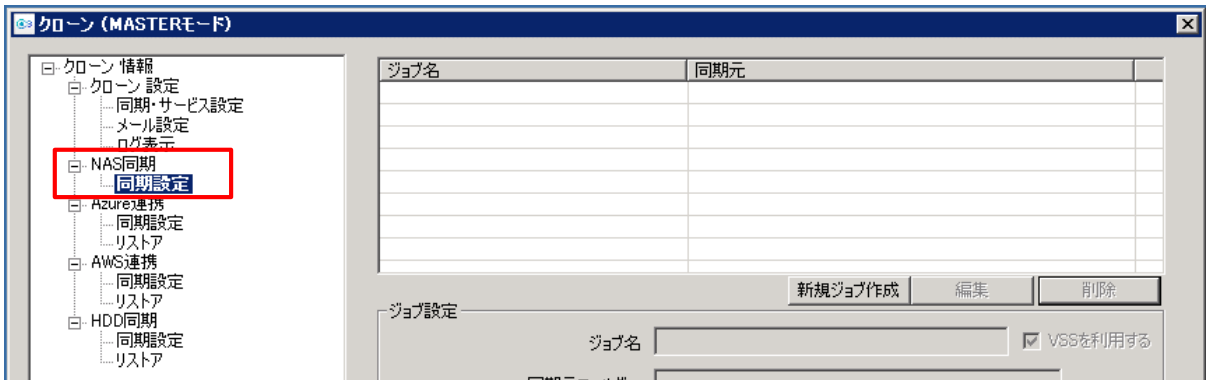
3-4：移行の設定と実施・確認



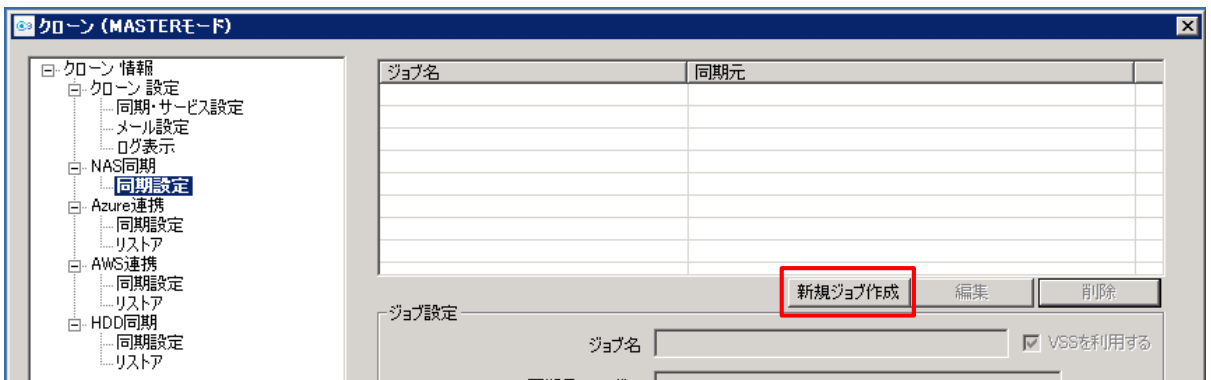
新NASで旧ファイルサーバーを操作して
クローン for Windowのジョブ設定と移行を実施します。



1. 「スタート」→「クローン」を起動します。
2. 旧ファイルサーバーでクローン for Windowsを起動し。
[NAS同期]の[同期設定]をクリックします。



3. [新規ジョブ作成]をクリックします。



(つづき) 3-4 : 移行の設定と実施・確認



4. ジョブ名と同期元フォルダーを設定します。
(次ページ5. に続きます)

項目	値
① ジョブ名	デフォルトのまま (任意)
VSSを利用する	チェックをつける
同期元フォルダー	参照をクリックしてDドライブを選択

(つづき) 3-4 : 移行の設定と実施・確認



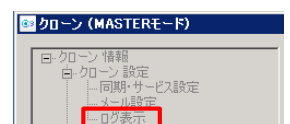
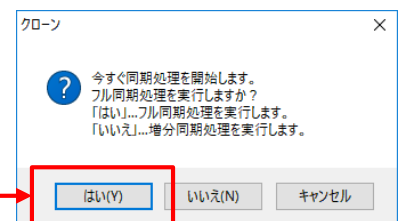
5. [同期先の指定][同期する曜日]を指定し、ジョブを保存します。

※同期先ログインユーザー、同期先ログインパスワードは変更する必要はありません。

The screenshot shows the 'ジョブ設定' (Job Settings) window. It includes fields for 'ジョブ名' (Job Name), '同期元フォルダー' (Source Folder), '同期先コンピューター名' (Destination Computer Name), '同期先ドライブレター' (Destination Drive Letter), '同期先共有名' (Destination Share Name), '同期先接続確認' (Destination Connection Confirmation), '同期先ログインユーザー' (Destination Login User), and '同期先ログインパスワード' (Destination Login Password). There are also sections for '増分同期' (Incremental Sync) and 'フル同期(リフレッシュ)' (Full Sync/Refresh) with options for frequency and time. A '手順6' (Step 6) callout points to the '今すぐ同期処理を行う' (Perform Sync Now) button. Other callouts point to the '同期先接続確認' button, the '保存' (Save) button, and the '今すぐ同期処理を行う' button again.

	項目	値または動作
②	同期先コンピューター名	別紙【設定シート】の新NASのコンピューター名 または IPアドレス
	同期先ドライブレター	D:¥を選択
③	同期先接続確認	クリック
④	増分同期	同期間隔 (毎週・毎月等) を指定 同期を開始する時間を[**:00]で指定
⑤	保存	クリック

6. 「今すぐ同期処理を行う」をクリックし、[フル同期]を開始します。

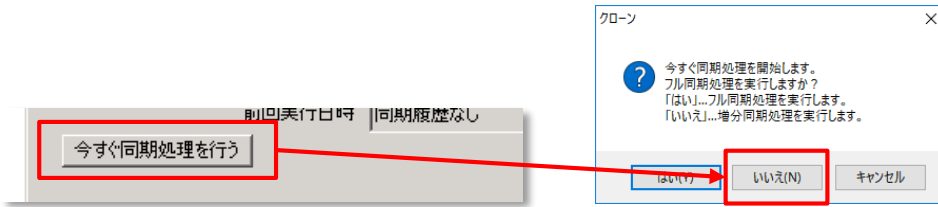


フル同期が完了しましたら、「ログ表示」をクリックして開き、同期結果を確認してください。

(つづき) 3-4 : 移行の設定と実施・確認

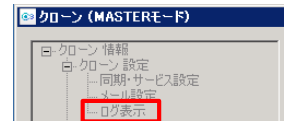


7. (6. がすぐに終わらない時は)、切替操作の実施前に「今すぐ同期処理を行う」⇒[いいえ]をクリックし、[増分同期]を開始します。



[いいえ]をクリックすると増分 (= 差分) 同期処理が実行されます

増分同期が完了しましたら、「ログ表示」をクリックして開き、同期結果を確認してください。



<参考：クローン for Windowsの同期先と復元内容>

同期先	復元できる内容	
NAS (スレーブ)	ネットワーク情報	コンピューター名 ドメイン名(ワークグループ) IPアドレス
	ユーザー情報 (ユーザー名のみ・パスワードはユーザー名と同じ文字列に自動変更)	
	グループ情報	
	共有情報	フォルダー ファイル
	クローンのマスター/スレーブ間同期のジョブ設定	

[制限事項]

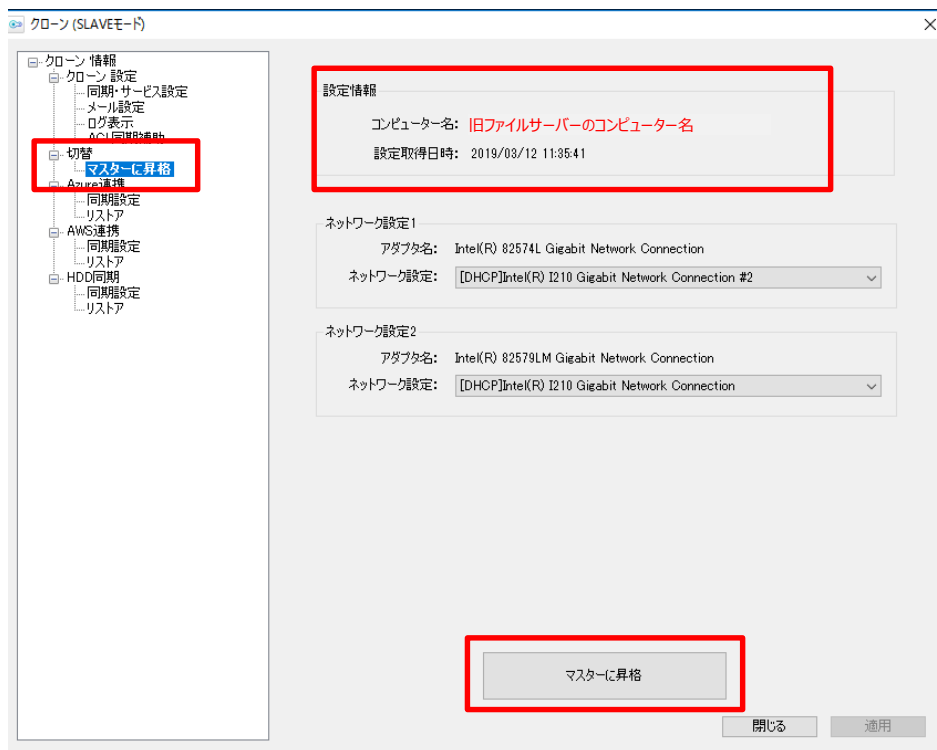
- 次のファイルは同期されません。
 - ・システムファイル、システムフォルダー
 - ・ユーザー[SYSTEM]にアクセス権限のないファイル
- 世代管理はできません
- 同期データからファイル/フォルダー /ボリューム単位での復元はできません。
- NTFSファイルシステムにより暗号化されたフォルダー /ファイルの同期はできません。
- NTFSファイルシステムにより圧縮されたフォルダー /ファイルは同期できますが、同期先では元の容量に戻ります。
- 共有フォルダーの引き継ぎはサーバー OSのみ対応しています。
- DNSは最大8個まで対応、NICは最大4個まで対応しています。

3-5 : サーバ切り替えの実施

新NASを「スレーブ」から「マスター」に昇格させます。



1. リモートデスクトップ接続した旧ファイルサーバーをシャットダウンします。
2. 新NASでクローン for Windows を起動します。
3. 「切替」 → 「マスターに昇格」 をクリックします。
4. 「設定情報」 欄に旧ファイルサーバーのコンピューター名が表示されていることを確認し、[マスターに昇格] をクリックします。



5. 新NASが再起動します。

3-5 : サーバ切り替えの実施



- 再起動後、下記ユーザーで新NASにログインします。

項目	値
ユーザー名	administrator
パスワード	admin

- 「サーバマネージャー」の「イーサネット」を確認し、新NASのIPアドレスが表示されている場合は、一旦LANケーブルを上下で差し替えてください。

3-6 : ユーザーパスワードの変更



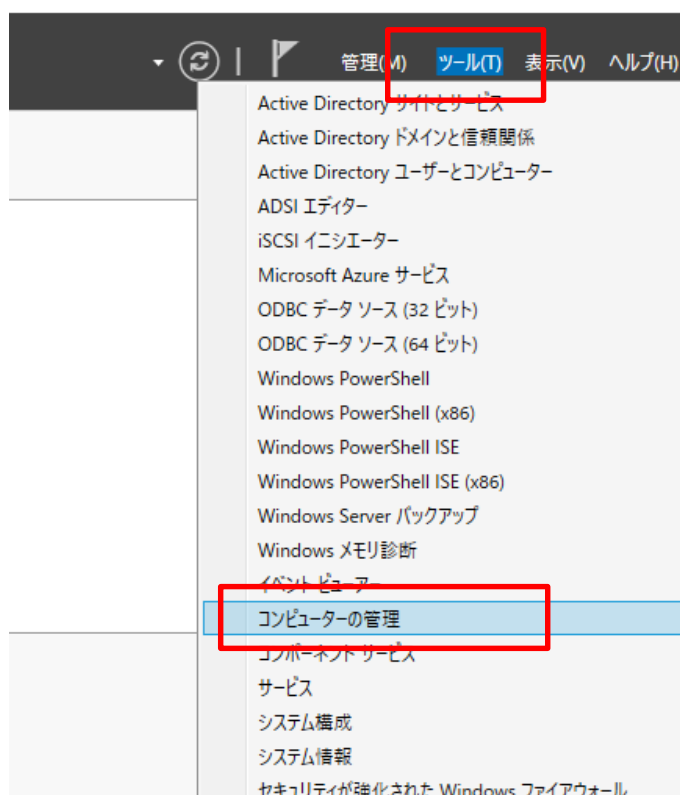
前ページから引き続き、ユーザーのパスワードを変更します。

クローン for Windowsでマスターへの切替（昇格）後の、 新NAS上の登録ユーザーの「パスワード」について （Workgroup環境の場合）

旧ファイルサーバーから新NASにはユーザーパスワードは移行されないため、
切替後のユーザーパスワードは、ユーザー名と同じになっています。
管理者アカウントでユーザーのパスワードを再設定します。

- ※ 日本語ユーザー名をご利用の場合は、必ず管理者権限でパスワードをリセットしてください。
- ※ すでに同一ユーザーが登録されている場合、パスワードは変更されません。

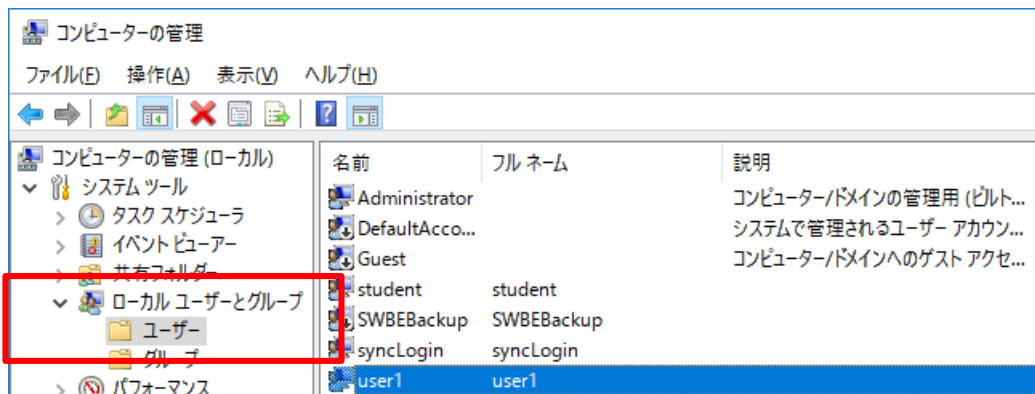
1. 「サーバーマネージャー」画面右上の「ツール」
→ 「コンピューターの管理」を開きます。



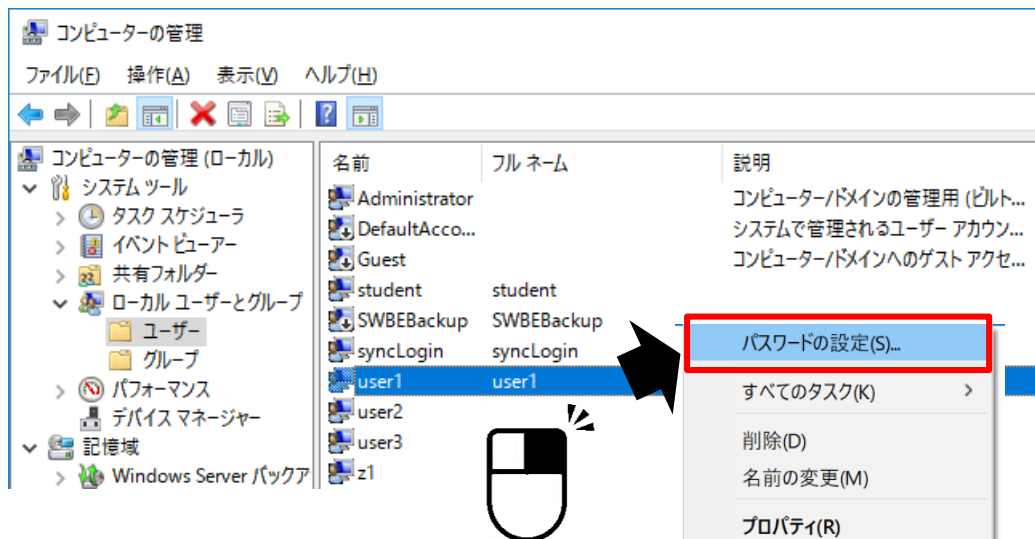
(つづき) 3-6 : ユーザーパスワードの変更



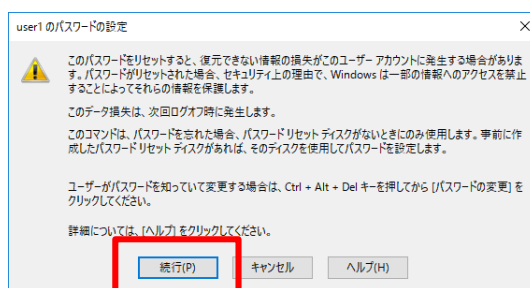
2. 「ローカルユーザーとグループ」をダブルクリックし、「ユーザー」をクリックします。



3. ユーザー名を右クリックして「パスワードの設定」をクリックします。



4. 以下の画面は[続行]をクリック



5. 移行前の、ユーザーパスワードを設定します。

※パスワードは別紙【[設定シート](#)】の「旧ファイルサーバーの登録ユーザー情報」を参照してください。

PART 4

移行結果の確認

4-0：移行結果の確認



旧ファイルサーバーから新NASに対して切替[3-6]を行った結果、[ユーザーとグループ][グループと共有フォルダーのアクセス権]（下記参照のこと）は新NASに引き継がれました。

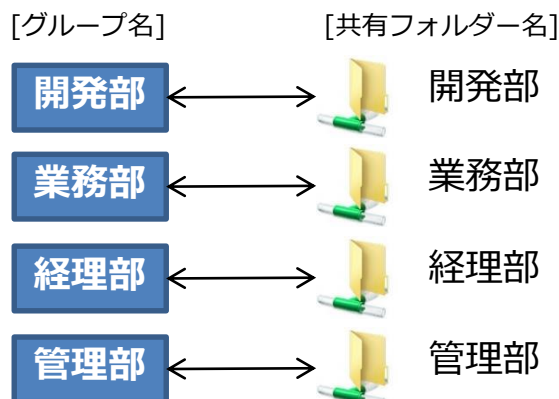
新NASにこれらが移行されていることを確認します。



- ユーザーとグループ
各グループ（開発部・業務部・・・）に対し、ユーザー（user1、user2・・・）が紐づけられている。

		ユーザー					
		user1	user2	user3	z 1	z 2	student
グループ	開発部	○					○
	業務部	○	○				○
	経理部		○	○			○
	管理部				○	○	○

- グループと共有フォルダーのアクセス制限
各グループと同じ名前の共有フォルダーが作成されていて、共有フォルダーのアクセス権は「グループ」に紐づけられている。



4-1 : 旧ファイルサーバーのアクセス権が 新NASに移行されたことを確認する。 (student)

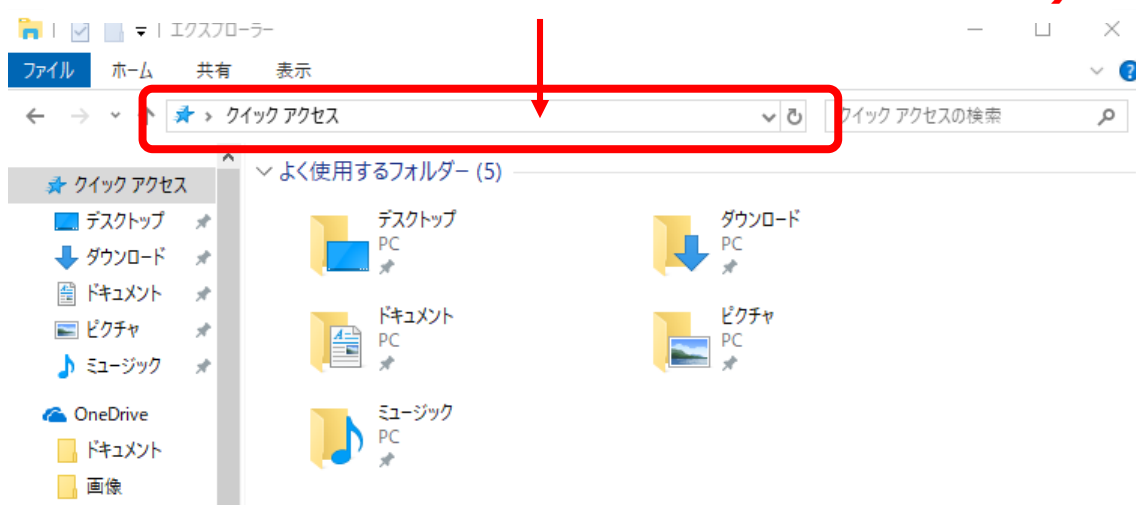


1. クライアントPCにstudentでログインします。

項目	値
ユーザ名	student
パスワード	admin@00

2. 旧ファイルサーバーにアクセスします
別紙 [【設定シート】](#) の「旧ファイルサーバーの設定情報」にある、コンピューター名 または IP アドレスでアクセスしてください。

¥¥コンピューター名 (もしくはIPアドレス)¥



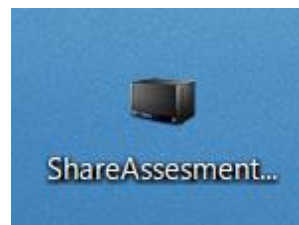
3. 31ページのアクセス権どおりに、旧ファイルサーバー上の全共有フォルダーにアクセスが可能であることを確認します。

4-2 : アセスメントツールで移行結果を確認する

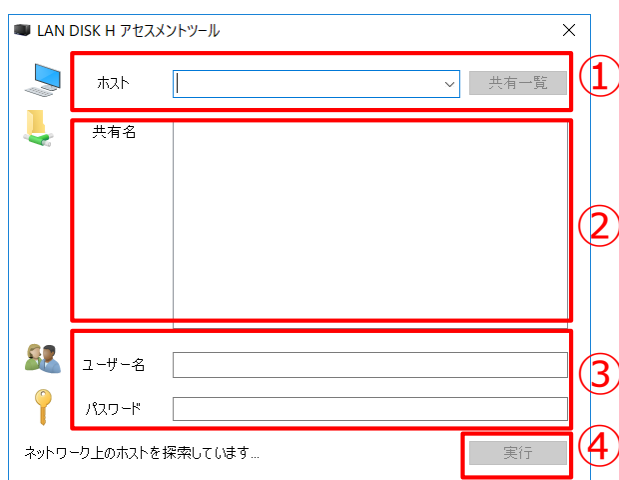


クライアントPCで「アセスメントツール」を実行して、新NASに設定やデータが移行されたことを確認します。

1. 「アセスメントツール」(ShareAssesmentTool.exe)を起動します。

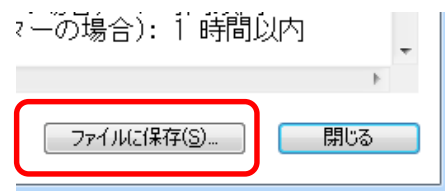


2. 新NASにアクセスします。ここでは旧ファイルサーバーの設定情報を利用します。



- ① 「ホスト」に旧ファイルサーバーのコンピュータ名またはIPアドレスを入力し[共有一覧]をクリック
- ② 「共有名」は以下のみ選択
開発部
業務部
経理部
管理部
※上記以外は選択しない
- ③ ユーザー名とパスワードは以下を入力。
ユーザー名 : student
パスワード : **admin@00**
- ④ [実行]ボタンをクリック

3. 調査結果をテキストファイルとして保存し、7ページで保存した、旧ファイルサーバーでの事前調査結果（テキストファイル）と同じであることをご確認ください。



※保存時は7ページと異なるファイル名で保存してください。

4. 「スタート」→ユーザーのアイコンをクリック→「サインアウト」を選択します。

4-3 : 旧ファイルサーバーのアクセス権が 新NASに移行されたことを確認する。 (user1)

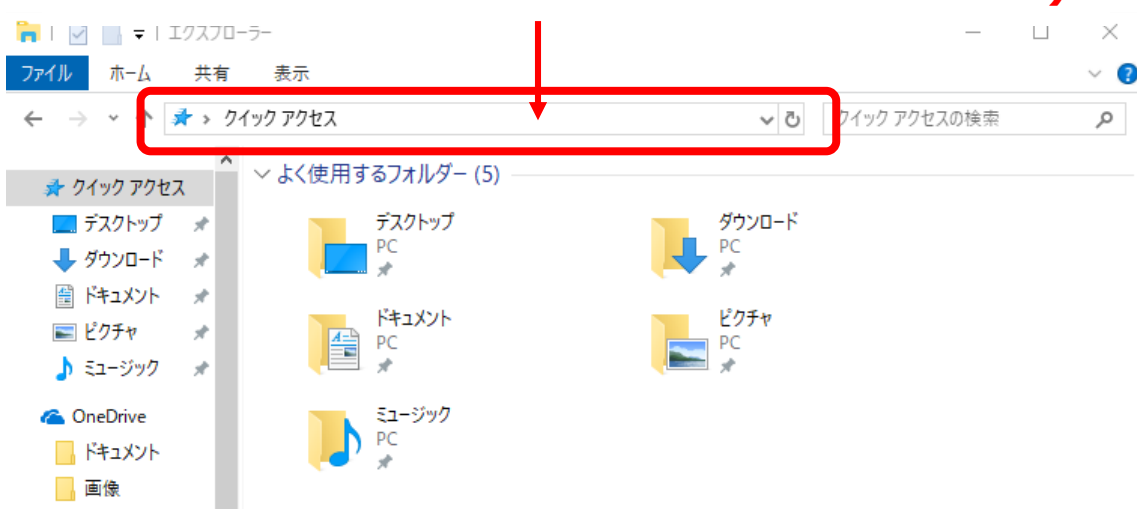


1. クライアントPCにuser1でログインします。

項目	値
ユーザ名	user1
パスワード	iodata@01

2. 旧ファイルサーバーにアクセスします
別紙【[設定シート](#)】の「旧ファイルサーバーの設定情報」にある、コンピューター名 または IP アドレスでアクセスしてください。

¥¥コンピューター名 (もしくはIPアドレス)¥



3. 31ページのアクセス権どおりに、旧ファイルサーバーにアクセス制限がかかっていることを確認します。

以上で、新NASに旧ファイルサーバー上の共有フォルダーができアクセス制限が旧ファイルサーバーと同様にかけられていることが確認できました。

<有償データ移行サービスのご紹介>

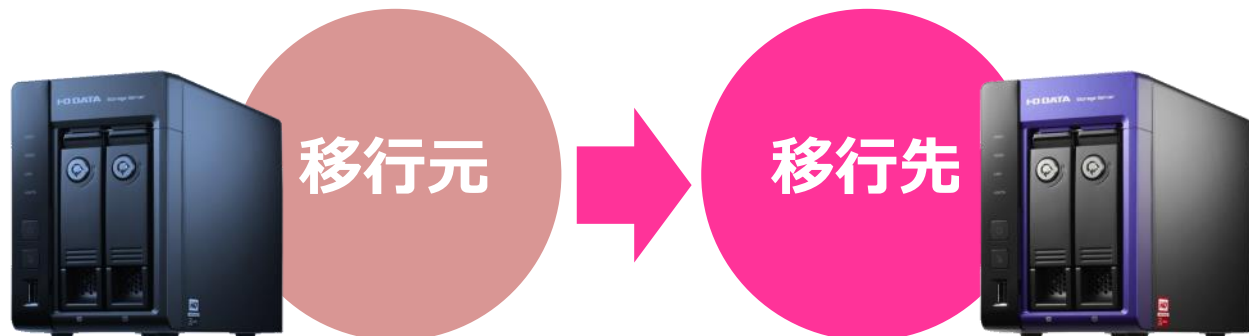
簡単にドキュメントを移したい!

ドキュメント引越しサービス

- ✓ NASのドキュメントを安全に引越し
- ✓ センドバックタイプとオンサイトタイプから選択



■ 当社法人NAS間のデータ移行を代行いたします



旧NAS商品 (データ移行元)

- 当社製法人向けRAID対応NAS*

新NAS商品 (データ移行先)

- 当社製法人向けRAID対応NAS*

※ アプライアンスボックスを除く

■ オンサイトとSENDバックから選択



オンサイトタイプ

ISS-SET-R5 . . . ¥65,000

直接スタッフがお伺いして、お客様の手元の移行元NASから移行先NASへデータ移行作業を行います。

SENDバックタイプ

ISS-SET-R1 . . . ¥45,000

移行元NASと移行先NASの2台を当社でお預かりして、データ移行作業を代行いたします。

本サービスをご利用には各種条件がございます。詳しくはWEBページを御覧ください。